

10月7日：外国人投資家の売り越しが続き、指数は下落

ベトナム株は下落して取引を終えた。外国人投資家は売り越しを続けた。投資家心理が悪化したことを受けてのことだった。

ホーチミン取引所のVN指数は0.46%下落し983.09ポイントで取引を終えた。

ハノイ取引所のHNX指数は1.36%下落し103.73ポイントで取引を終えた。

先週VN指数は1.03%下落したが、その間にHNX指数は0.37%上昇していた。

出来高は2億900万株で売買代金は5.55兆ドン(2億3800万ドル)であった。

VN30指数の採用銘柄の内21銘柄が下落し、6銘柄のみが上昇した。

第三四半期決算に対して、証券各社は強気であるが、月曜日に最も下落したのは金融セクターだった。ベトコムバンク (VCB)、ベティンバンク (CTG)、ベトナム投資開発銀行 (BID)、テクコムバンク (TCB)、VPバンク (VPB)、軍隊銀行 (MBB)、フーニュアンジュエリー (PNJ)、バオベトグループ (BVH)、SSI証券 (SSI)などが主な下落銘柄だった。

BVH、VPB、SSIは2%以上下落し、その他の銘柄も0.3-1.9%ほど下落した。

トレンドに逆行したのはビナミルク (VNM)、サイゴンビール (SAB)、ペトロベトナムガス (GAS)、ビエンホア製糖 (SBT)、サコムバンク (STB)などであったが、わずかな上昇であった。

外国人投資家は売り越しを続けた。ホーチミン取引所で458億ドンの売り越しであった。10営業日連続の売り越しとなり、合計で1.3兆ドンとなった。

ハノイ取引所では1億2700万ドンの買い越しだった。

外国人投資家は売りをやめる兆候を見せない。この売り越しトレンドが続くならば、短期的に大きな売り圧力に直面するだろうとバオベト証券のアナリストは語った。

今週の重要なイベントは米中貿易対話で木曜日と金曜日にワシントンで行われる。

同アナリストは将来の方向性が明らかになるまでは、VN 指数は 978-982 ポイント付近で推移するだろうと予想した。第 3 四半期の好決算が期待されるセクターは銀行、小売、不動産、電気、ゴムなどである。

MB 証券によると、良い点として資金流入が外国人投資家の売りを吸収していることが挙げられる。平均の売買代金は 2.3 兆ドンから 3.3 兆ドンに上昇しているとのことだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。